

取材のお願い

2月4日 新大久保駅で李秀賢イ・スヒョン氏を追悼・献花

～日韓交流の懸け橋をめざす韓国の高校生が来日～

国際交流基金は、2001年にJR新大久保駅で線路に落ちた日本人を助けようとして犠牲になった、韓国人留学生の李秀賢（イ・スヒョン）氏の遺志を継ぎ、将来の日韓交流を担う韓国の高校生を2002年から毎年招へいしています。

本年は、韓国で日本語を学習し、日本に関心をもつ韓国の高校生17名が研修に参加します。日本の高校や大学等での交流活動を通じて、日本の文化や社会への理解を深める機会とし、将来の日韓関係について若者の視点から考えます。なお、**2月4日（火）11時には、新大久保駅で李氏への追悼・献花を行い、李氏が通っていた赤門会日本語学校を訪問します。**

今回で19回目となる本研修の参加者は300名を超えます。研修をきっかけに、より一層日本に関わりたいと考える参加者も多く、大学の日本関係学科に進んだり、日本へ留学や就職をしたりと、両国の懸け橋として活躍しています。



日本文化体験（和太鼓）



京都研修旅行（北野天満宮にて）

記

事業名称：李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修

主催：国際交流基金 関西国際センター

開催日程：2020年1月29日（水）～2月12日（水）の15日間 ※2月3日～5日は東京滞在

1月31日（金）大阪府立佐野高等学校との交流（大阪）

2月1日（土）大阪府立佐野高等学校生徒の家庭へホームビジット（大阪）

2月3日（月）国際交流基金本部 訪問、韓国文化院 訪問（東京）

2月4日（火）JR新大久保駅での追悼・献花、赤門会日本語学校 訪問（東京）

2月7日（金）立命館大学国際関係学部との交流（京都）

協力：学校法人新井学園 赤門会日本語学校、特定非営利活動法人 エルエスエイチアジア奨学会、立命館大学国際関係学部、大阪府立佐野高等学校、駐日大韓民国大使館 韓国文化院

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp